



2026年3月期 決算説明会資料

スタンダード市場 4620
藤倉化成株式会社

代表取締役社長 栗原 進

2026年6月16日

- 藤倉化成の事業概要 P 2
- 2026年3月期 決算概要 P 8
- 2027年3月期 業績予想 P 17
- 第11次中期経営計画の振り返り P 20

藤倉化成の事業概要

経営理念

ともに挑み ともに繋ぐ

常にお客様目線で上質な価値を創出する

行動指針

私たちは、全ての仲間と手を取り合い、創出する喜びを分かち合います。

私たちは、失敗を恐れず、常にチャレンジャーであり続けます。

私たちは、お客様と誠実に向き合い、信頼される存在を目指します。

私たちは、こだわりと思いやりをもって、心地良さの実現を追求します。

私たちは、法とその精神を守り、安心・安全なものづくりを約束します。

1938 創業

藤倉工業株式会社（現藤倉コンポジット株式会社）から分離独立し、藤倉化学工業株式会社を設立。航空機用風防ガラス（メチルメタクリレート）、航空機用塗料などを主に生産。



創業時の様子

1938～1970

1958 社名改称

藤倉化成株式会社と社名を改称。

1962 市場上場

東京証券市場第2部に上場。

1964 営業所開設

大阪営業所、名古屋営業所を開設。

1971 事業所開設

栃木県佐野市に佐野事業所を開設。

1972 技術提携

米国レッドスポット社と、プラスチック用塗料、コーティング材の分野で技術提携。

1973 技術提携

米国ブラスタロイ社と水系弾性塗料の分野で技術提携。

1971～1990

1986 販売会社設立

建築用塗料の東日本地区販売会社「フジケミ東京株式会社」を設立。

1987 技術提携

米国「レッドスポット社」とスエード調塗料の分野で技術提携。

1990 事業所開設

埼玉県鷲宮町（現久喜市）に鷲宮事業所を開設。

1991～2010

1996 開発研究所新設

鷲宮事業所開発研究所新設。

2000 事業提携

米国「レッドスポット社」、英国「ソネボーンアンドリーク社」と3社でのプラスチック用コーティング分野において包括的三極グローバルネットワーク事業提携。

2001 市場移行

東京証券市場第1部に上場。

2007 工場新設

佐野事業所第三工場を新設。

2008 米社買収・子会社化

米国「レッドスポット社」を買収、子会社化。

2010 英社買収・子会社化

英国「ソネボーンアンドリーク社」（11月「フジケム ソネボーン社」に社名変更）を買収、子会社化。

2011～現在

2012 物流センター新設

埼玉県久喜市に久喜物流センターを新設。

2019 ガバナンス

監査等委員会設置会社へ移行。

2023 市場移行

東京証券取引所スタンダード市場へ移行。



化成品

セグメント別売上高 売上高構成比
4,899百万円 **8.8%**



電子材料

セグメント別売上高 売上高構成比
4,624百万円 **8.3%**



塗料

セグメント別売上高 売上高構成比
13,372百万円 **24.0%**

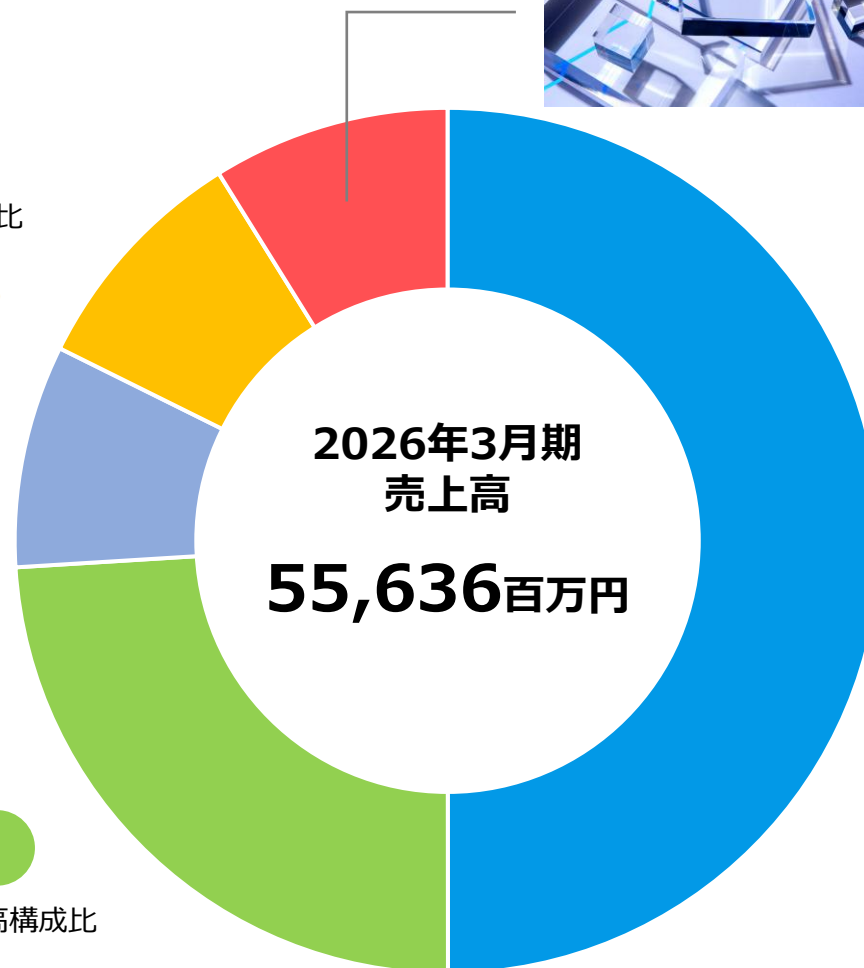


合成樹脂

セグメント別売上高 売上高構成比
4,932百万円 **8.9%**

コーティング

セグメント別売上高 売上高構成比
27,809百万円 **50.0%**



地域別売上高

その他地域

地域別売上高
4,552百万円

売上高構成比
8.2%

北米

地域別売上高
14,249百万円

売上高構成比
25.6%

アジア

地域別売上高
7,109百万円

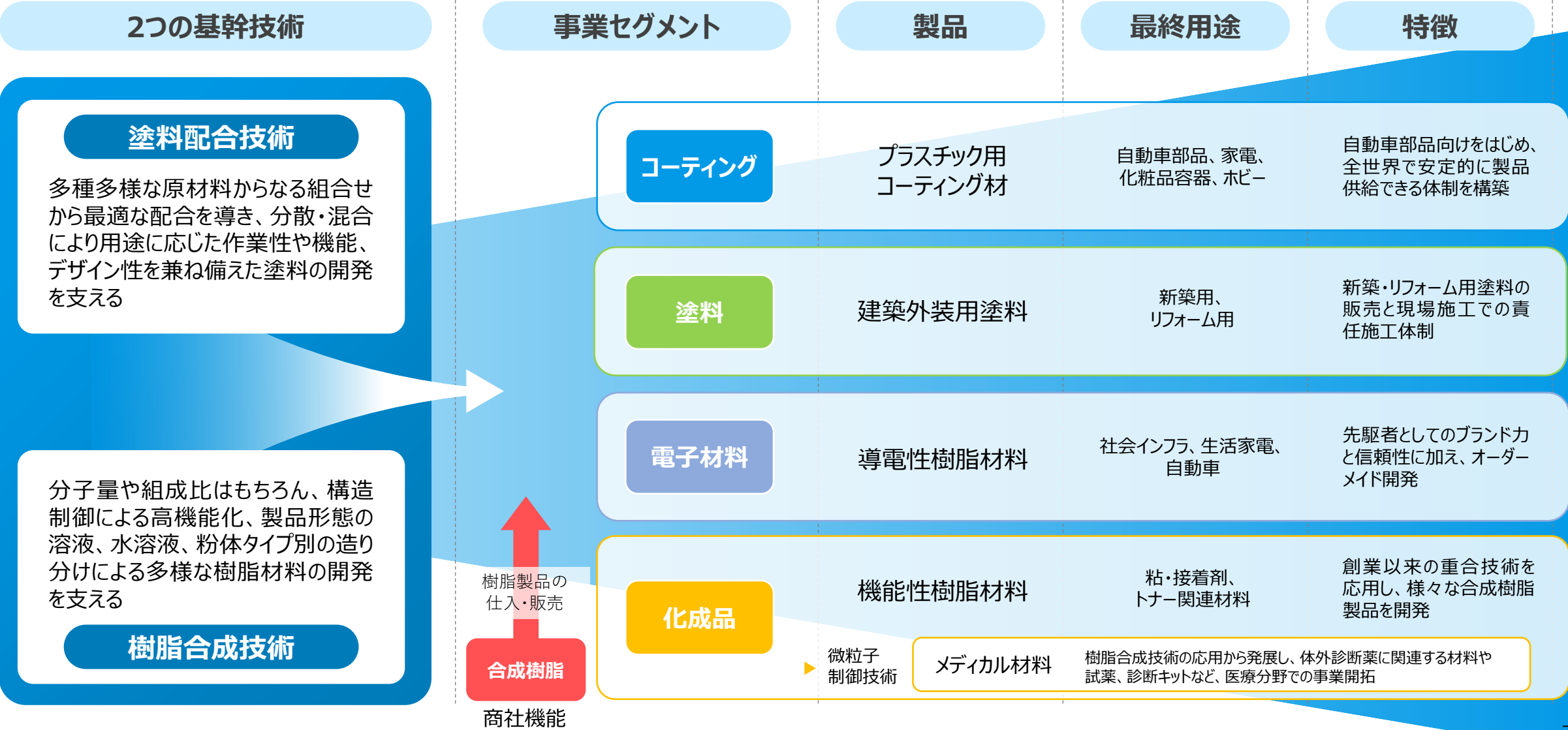
売上高構成比
12.8%

2026年3月期
売上高
55,636百万円

日本

地域別売上高
29,726百万円

売上高構成比
53.4%



2026年3月期 決算概要



国内経済では緩やかな回復傾向にあるものの米国の政策動向や中国経済の減速などの懸念材料に加え、原材料価格の高騰などが継続



国内自動車市場における当社製品採用車種の生産減少などがあったものの、
リフォーム分野での販売好調もあり増収



原材料価格の高騰があったものの
価格改定への機動的な対応や高付加価値製品の販売拡大により大幅な増益



売上高では当初予想を下回り前期並みとなったものの、各段階利益では当初予想および前期を大きく超過

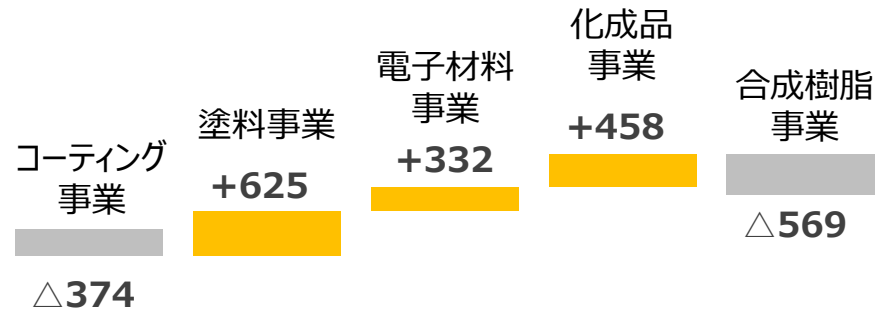
(単位：百万円)	2025/3期	2026/3期			
	実績	実績	前期比（％）	当初予想 2025年5月13日	当初予想比 （％）
売上高	55,528	55,636	+0.2%	56,000	△0.6%
売上総利益	15,985	16,956	+6.1%	-	-
販売費及び一般管理費	14,679	14,685	+0.04%	-	-
営業利益	1,306	2,271	+73.9%	1,500	+51.4%
経常利益	2,033	4,210	+107.1%	1,800	+133.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	511	3,134	+513.5%	1,200	+161.2%

売上高 増減要因分析

(単位：百万円)

予想

実績

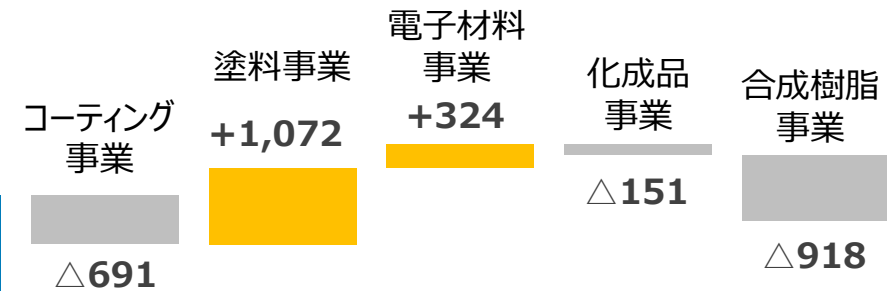


55,528

- リフォーム分野での拡販（塗料）
- ファイン材料、粘着剤分野の拡大（化成品）

56,000

2026/3期
当初予想



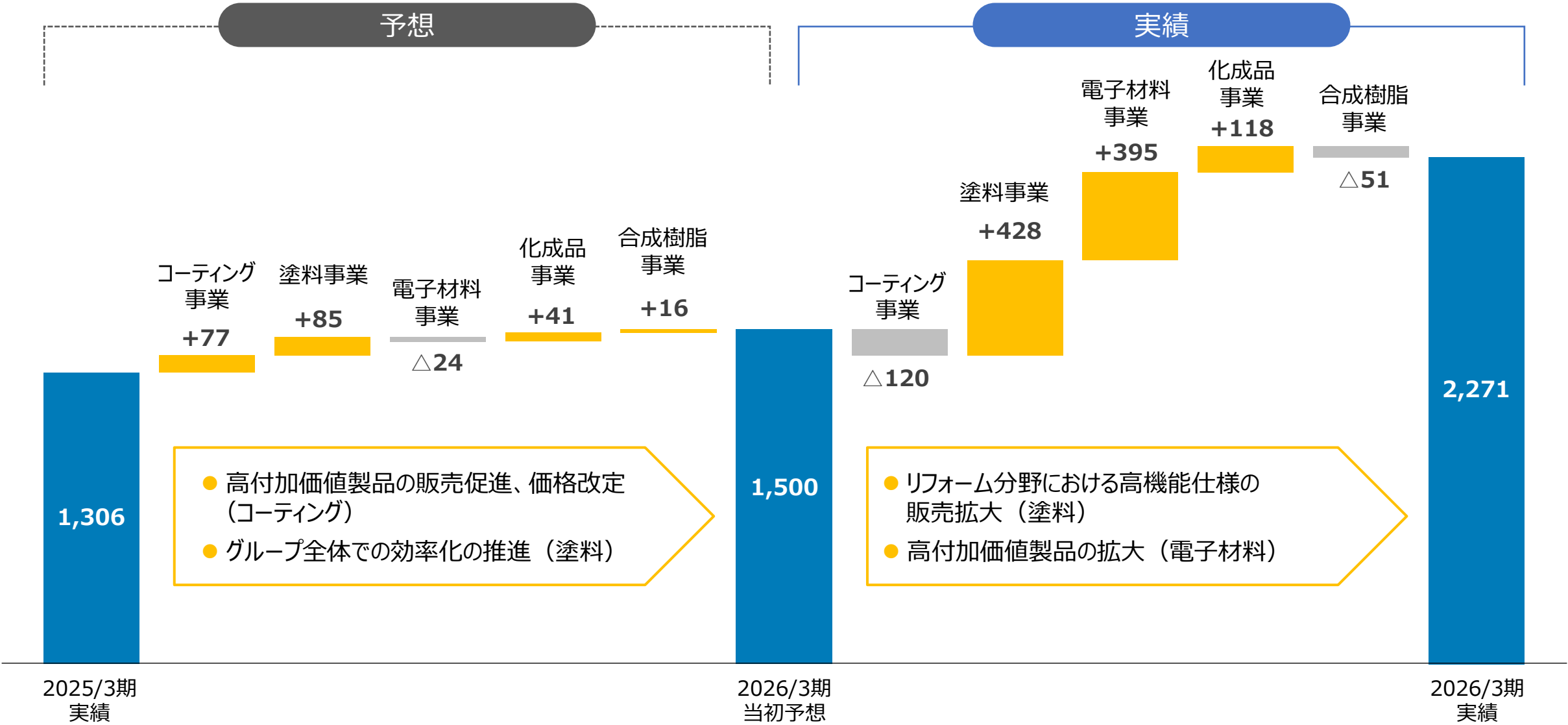
55,636

- リフォーム分野における高機能仕様の販売拡大（塗料）
- 北米向け樹脂原料販売の低迷（合成樹脂）

2026/3期
実績

営業利益 増減要因分析

(単位：百万円)





建設仮勘定および投資有価証券により固定資産が大きく増加
負債では長期借入金や繰延税金負債、純資産ではその他有価証券評価差金額が大きく増加

(単位：百万円)	2025/3期	2026/3期	
	実績	実績	前期比（％）
流動資産	33,993	36,095	+6.2%
固定資産	25,055	35,354	+41.1%
資産合計	59,048	71,450	+21.0%
流動負債	11,818	13,162	+11.4%
固定負債	4,034	7,742	+91.9%
負債合計	15,852	20,904	+31.9%
株主資本	33,257	35,360	+6.3%
その他包括利益累計額	7,638	13,024	+70.5%
純資産合計	43,197	50,546	+17.0%
負債・純資産合計	59,048	71,450	+21.0%



有形固定資産の取得などの投資活動があり、フリー・キャッシュ・フローが減少

(単位：百万円)	2025/3期	2026/3期	
	実績	実績	前期比（％）
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,275	3,006	△8.2%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,526	△ 3,106	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,918	345	-
現金及び現金同等物の期首残高	12,033	12,441	+3.4%
現金及び現金同等物の期末残高	12,441	12,688	+2.0%
フリー・キャッシュ・フロー	1,749	△ 100	-

コーティング

- PFASフリー対応製品の拡販による収益改善

塗料

- リフォーム分野における高機能仕様の販売拡大

電子材料

- シートベルトリマイnder向け製品の堅調継続

化成品

- 粘着剤市場における主要顧客でのシェア拡大

合成樹脂

- LEDモジュールなどの照明関連製品の伸長

株式に関する取り組み



増配

中間配当 : 9円 ※基準日 2025年9月30日

期末配当 : 11円 ※基準日 2026年3月31日

年間配当金 : 20円 (+2円)



自己株式

867,300株を499,963千円で取得

設備投資 & 環境整備



佐野事業所リニューアル（第2STEP）

- ・ 2025年12月に本体工場着工
- ・ 27億円のキャッシュアウトが発生



設備投資

- ・ 基幹システムの切替プロジェクトを推進



従業員エンゲージメントの向上

- ・ 自己株式を活用した従業員向けインセンティブ・プランを導入

2027年3月期 業績予想

2027年3月期見通しと国際情勢に関連する当社への影響と対応



中東情勢の影響により、当社事業を取り巻く環境の先行きが極めて不透明であるため、合理的な前提条件を置くことが困難であると判断し、2027年3月期の見通しは未定。今後、算定可能となった時点で速やかに開示を予定



影響の可能性がある分野

製造・販売

影響と対応

原材料
価格

価格上昇
が発生

価格改定を実施

原材料
調達

副資材を含めた原材料の
購入制限・入荷不安

- ・ スポット品の購入・新規仕入れ先の開拓・供給制限・生産調整
- ・ 副資材：代替品の導入などを実施

顧客動向

前倒しで発注を実施する動きが見られる分野が一部あり

今後の動向を注視

その他

サーチャージを含めた運賃上昇やリードタイムの長期化などの影響も顕在化

必要に応じてサプライチェーンの見直し及び価格改定を検討

株式に関する取り組み

✔ 配当方針
未定 後日発表予定

✔ 自己株式の取得
最大で7億円、70万株の取得を実施

設備投資 & 環境整備

✔ 佐野事業所リニューアル（第2STEP）
40億円のキャッシュアウトを予定

✔ 設備投資
基幹システムの切替プロジェクト完了

✔ DXの推進
全従業員へのIT端末配布

第11次中期経営計画の振り返り

経営目標との乖離

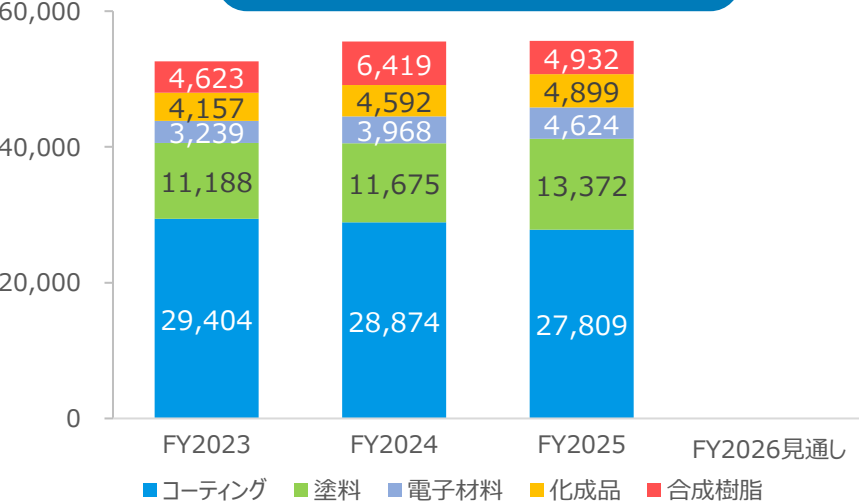
- 原材料高騰、エネルギーコスト上昇の影響
- シェア拡大策の未達
- 市場環境の変化

重点戦略における成果

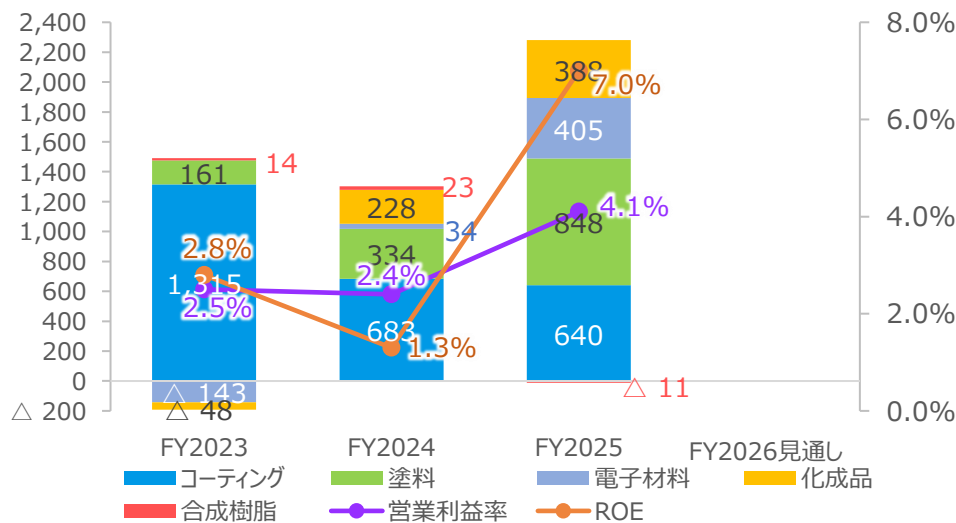
- 収益性への意識向上の全社浸透
- 新製品の拡販による収益性向上
- 全社的なサステナビリティ課題の明確化

第11次中期経営計画の振り返り（定量）

連結売上高実績・見通し



連結営業利益実績・見通し



	FY2023 実績 (1年目)	FY2024 実績 (2年目)	FY2025 実績 (最終年度)	FY2023 中計目標 (1年目)	FY2024 中計目標 (2年目)	FY2025 中計目標 (最終年度)	FY2026 見通し
売上高	52,612	55,528	55,636	55,000	59,000	63,000	—
営業利益	1,299	1,306	2,271	1,300	2,900	4,000	—
経常利益	1,846	2,033	4,210	—	—	—	—
当期純利益	1,075	511	3,134	—	—	—	—
ROE	2.8%	1.3%	7.0%	3.0%	6.0%	8.0%	—

第11次中期経営計画（FY2023～2025）の総括

第11次中計から抽出された重点課題



《事業領域》3つの戦略

技術開発の
拡充

注力事業の
強化

基盤事業の
収益性拡大

《経営領域》2つの戦略

サステナビリティの
取り組み

経営基盤の
強靱化

前中期経営計画で明確となった藤倉化成グループの課題を認識し、再チャレンジする

重点戦略	成果	課題
技術開発の拡充	独自の樹脂合成技術による高付加価値製品の上市	新規事業領域の探索
注力事業の強化	新商品の拡販による収益性向上	シェア拡大のための取り組み
基盤事業の収益性拡大	収益性の意識向上による利益率改善	資本効率性に基づく行動
サステナビリティの取り組み	全社的課題の明確化と取り組みを実施	人的資本経営実現に向けた取り組み
経営基盤の強靱化	- 株価向上 - 自己株式の有効活用	さらなる企業価値向上に向けた施策

第11次中期経営計画の振り返り 当社が抱える課題分析

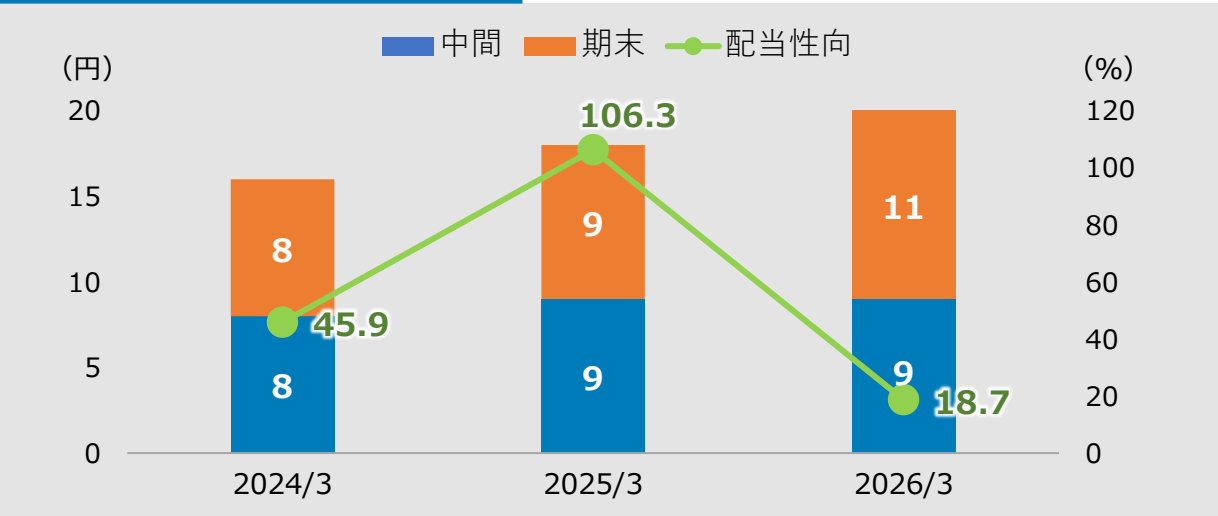
	売上高 (対計画 達成率)	セグメント利益 (対計画 達成率)	成果	課題
コーティング	278億円 (87%)	6.4億円 (28%)	- 新規デザイン承認獲得 - 海外市場での顧客承認獲得	- 収益性改善 - 高付加価値分野チャレンジ - 生産性向上
塗料	134億円 (92%)	8.5億円 (73%)	- 収益性向上 - リフォームシェアアップ - 土木分野の開発体制確立	- 新築の市場縮小 - 新商品立ち上げ - 新分野開拓
電子材料	46億円 (102%)	4.1億円 (119%)	- 収益性向上 - 車載分野拡大 - 家電、PC拡大	- 銀建値高騰 - 電子部品新分野エントリー
化成品	49億円 (108%)	3.9億円 (647%)	- ファイン材料拡大 - 環境配慮型製品拡大 - 診断薬新市場開拓	- トナー市場動向 - 診断薬新製品開発
合成樹脂	49億円 (67%)	△0.1億円 (－)	- 北米市場での原料販売実績 - 照明分野参入	- 新商材の開拓 - 社会課題対応

基本方針

- 安定的な配当を基本とし今後の収益予想、配当性向等を十分に考慮し将来の事業展開に見合った配当を実施
- 第11次中期経営計画期間中 総還元性向70%以上を目指し配当を実施
- 年間配当金16円以上の維持
- 株主還元及び資本効率の向上と機動的な資本政策を遂行するため 自己株式取得も検討
- 2027年3月期の配当につきましては、先行きが不透明な状況のため未定

		2024/3 実績	2025/3 実績	2026/3 実績
配当金	年間	16.0円	18.0円	20.0円
	中間	8.0円	9.0円	9.0円
	期末	8.0円	9.0円	11.0円
総還元性向		45.9%	204.2%	34.5%
配当性向		45.9%	106.3%	18.7%

1 株当たり年間配当金の推移



自己株式の取得実績

	2024/3	2025/3	2026/3
自己株式の取得額	-	5.0 億円	5.0 億円



当資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は国内および諸外国の経済状況、
当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、その他当社業績へ影響を与える
要因について、現在入手可能な情報をもとにした予想を前提としております。

これらは、市況・競合状況・当社新製品の採用の可否など多くの不確実な要因の影響を受けます。
従いまして、当予測と実際の業績が大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。



IRお問い合わせ先： fkkir@fkkasei.co.jp